

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公開番号】特開 2006-58637 (P2006-58637A)

【公開日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報 2006-009

【出願番号】特願 2004-240785 (P2004-240785)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

H 0 1 H 13/712 (2006.01)

F 2 1 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1333

F 2 1 V 8/00 6 0 1 Z

G 0 2 F 1/13357

G 0 6 F 3/03 3 1 0 C

G 0 6 F 3/033 3 5 0 A

H 0 1 H 13/70 E

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 1 日 (2007.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光放出面を含む導光板と、前記導光板の側縁に対向配置された光源と、前記導光板および光源を覆うと共に前記光放出面に対向した領域が開口したバックカバーと、を有したバックライトユニットと、

前記光放出面に対向して設けられたアレイ基板と、前記アレイ基板に隙間を置いて対向配置された対向基板と、前記アレイ基板および対向基板間に挟持された液晶層と、を有した液晶表示パネルと、

前記液晶表示パネルに対向して配置され前記対向基板の周縁部およびバックカバーの周壁を覆った枠状のケースと、

を備え、

前記バックカバーは、前記光放出面を超えて突出するとともに前記液晶表示パネルの側縁に対向し、前記ケースを支持する複数の突出部を有する液晶表示装置。

【請求項 2】

前記対向基板に対向するとともに前記ケース上に設けられ、入力面を有した入力装置をさらに備え、

前記複数の突出部は、前記ケースを介して前記入力装置を支持する請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 3】

前記複数の突出部は、前記入力装置と対向した個所の前記ケース内面と対向している請求項 1 または 2 に記載の液晶表示装置。

【請求項 4】

前記バックライトユニットは、前記光放出面の周縁部を覆い、前記導光板の側縁と対向するとともに前記バックカバーの周壁を覆った枠状のフロントカバーをさらに備え、

前記複数の突出部は、前記フロントカバーをそれぞれ貫通して延びている請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置。

【請求項 5】

前記バックカバーは矩形状であり、

前記複数の突出部は、前記バックカバーの各辺に設けられた少なくとも 1 つの突出部を含む請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するため、本発明の態様に係る液晶表示装置は、光放出面を含む導光板と、前記導光板の側縁に対向配置された光源と、前記導光板および光源を覆うと共に前記光放出面と対向した領域が開口したバックカバーと、を有したバックライトユニットと、前記光放出面と対向して設けられたアレイ基板と、前記アレイ基板に隙間を置いて対向配置された対向基板と、前記アレイ基板および対向基板間に挟持された液晶層と、を有した液晶表示パネルと、前記液晶表示パネルと対向して配置され前記対向基板の周縁部およびバックカバーの周壁を覆った枠状のケースと、を備え、前記バックカバーは、前記光放出面を超えて突出するとともに前記液晶表示パネルの側縁と対向し、前記ケースを支持する複数の突出部を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

アレイ基板 2 0 および対向基板 3 0 は、複数のスペーサ 4 1 により所定の隙間を置いて対向配置されている。アレイ基板 2 0 および対向基板 3 0 は、両基板の周縁部に配置されたシール材 4 2 により互いに接合されている。液晶層 4 0 は、アレイ基板 2 0、対向基板 3 0、およびシール材 4 2 の間に挟持されている。アレイ基板 2 0 の外面には第 1 偏光板 5 0 が配置され、対向基板 3 0 の外面には第 2 偏光板 6 0 が配置されている。この実施の形態において、第 1 偏光板 5 0 およびアレイ基板 2 0 の周縁部は、それぞれフロントカバー 1 8 の上壁 1 8 a と重なり、第 1 偏光板表面の周縁部は上壁 1 8 a と接触している。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

図 1 および図 5 に示すように、タッチパネル 4 は、抵抗感圧方式のデジタイザとして構成されている。タッチパネル 4 は、対向基板 3 0 と対向しているとともにケース 3 上に設けられている。タッチパネル 4 は、対向基板 3 0 と対向した第 1 基板 7 1、この第 1 基板に所定の隙間を置いて対向配置された第 2 基板 7 2 と、を有している。第 1 基板 7 1 は、例えばポリエステルフィルムやガラスからなる第 1 シート 7 3 a を有している。第 2 基板

7 2 も、例えばポリエステルフィルムやガラスからなる第 2 シート 7 3 bを有している。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

第 1 シート 7 3 a および第 2 シート 7 3 b 上には、ITO 等の透明な導電材料により形成された矩形状の第 1 抵抗層 7 4 a および第 2 抵抗層 7 4 b がそれぞれ配設されている。図示しないが、第 1 抵抗層 7 4 a の対向する一対の辺には、電極 7 5 a、7 5 b がそれぞれ設けられている。同じく、図示しないが、第 2 抵抗層 7 4 bの対向する一対の辺には、電極 7 6 a、7 6 b がそれぞれ設けられている。